

2026年5月21日

## 東経連 2025 年度アジア圏向け農水産物輸出支援実績について —新規3産品を加え、香港、台湾に向けて輸出拡大—

一般社団法人東北経済連合会（会長：増子次郎、以下「東経連」）では、2019年から東北・新潟の農水産物・食品の輸出拡大に取り組んでいます。7年目となった2025年度は、新たに青森県産大根、秋田県産メロン・りんごの3産品が輸出されたほか、仙台牛など、他の農畜産物の輸出量も増加しています。

この度、東経連における2025年度のアジア圏向け農水産物の輸出支援実績をとりまとめましたので、お知らせします。

### ○各品目の概要

#### 1 「メロン」 新潟県産（6月～）、山形県産（7月～）、秋田県産（8月）

- ・ 2019年の山形県産メロンの輸出<sup>※1</sup>を皮切りに、2023年からは新潟県産メロンの輸出<sup>※2</sup>をスタートさせ、2025年は出荷量が更に拡大。新潟県産メロンについては、2023年の初出荷時の5倍となる1tを超える輸出となりました。
- ・ 2025年から秋田県産メロンの輸出が実現し、6月から新潟県産、7月からは山形県産、さらに8月は秋田県産と、いわゆるリレー出荷の体制が整いました。
- ・ 香港では、赤肉メロンが人気で、更に東北・新潟の産地の発掘を行っています。

- 「新潟県産「メロン」を香港へ3年連続で輸出」：令和7年6月24日プレス済
- 「山形県産「メロン」を香港へ輸出」：令和7年7月11日プレス済
- 「秋田県産メロン「あんめレッド」香港へ初輸出」：令和7年8月6日プレス済

※1 九州農水産物直販(株)（以下「九直」）が九州で旬が終わった夏場に香港で人気のある赤肉メロンを出荷できる生産者を探していたことから、東経連が九直と山形県国際経済振興機構及びJA全農山形との商談を仲介したことにより、山形県産メロンの香港への輸出が実現。その後も取引が継続され、山形のメロンは、夏の定番商品となっています。

※2 新潟商工会議所等の協力により新潟市の(株)真田農園を紹介いただき、東経連が同社と九直を繋げたことにより、2023年度から輸出が実現しました。

#### 2 「サツマイモ」 宮城県産（11月～）

- ・ 2023年2月から毎年、宮城県山元町の(株)やまもとファームみらい野（以下「やまもとファーム」）のサツマイモ<sup>※3</sup>が香港へ輸出されています。
- ・ 香港の旺盛な需要に対応するため、JA全農みやぎでは、やまもとファームに加え、「JAみやぎ仙南」、「JA加美よつば」、「JA新みやぎ」の3つの農協からもサツマイモを集め、輸出しています。

- 「宮城県産「サツマイモ」香港向け輸出開始のお知らせ」: 令和7年11月26日プレス済

※3 東経連が2020年に実施した商談会において、東日本大震災の津波の被災地を開墾した農地(約120ha)でサツマイモ等の栽培を行うやまもとファームに九直を紹介したことにより、香港へのサツマイモの輸出が実現しました。

### 3 「キャベツ」 岩手県産(7月~10月)

- ・ 2023年から始まったキャベツの輸出<sup>※4</sup>については、2025年も継続して香港に輸出しました。

- 「八戸中央青果(株)による香港への青果物の輸出について」: 令和7年7月11日プレス済

※4 キャベツは、香港で大きな需要があるものの、東北においては集荷力があり、かつ、検品作業(害虫駆除等)を行うことができるという双方の条件を満たす事業者が見当たらないことなどの課題がありました。2023年に、集荷力と検品体制が整っている八戸中央青果(株)(以下「八戸中央青果」)の紹介を受け、東経連が九直に繋げたことで、キャベツの輸出が実現しました。

### 4 「大根」 青森県産(7月~10月)

- ・ 2025年7月に青森県産大根の香港への輸出が実現しました。これは、前述のキャベツの輸出で繋がりのできた八戸中央青果と九直が更なる商談を重ねた結果、キャベツ以外の青果物の輸出に結び付いたものです。

- 「八戸中央青果(株)による香港への青果物の輸出について」: 令和7年7月11日プレス済

### 5 「枝豆」 秋田県産(9月)

- ・ 2025年9月に秋田県産枝豆の香港への輸出が実現しました。2022年に秋田県産の枝豆が輸出されて以来、今回久しぶりに輸出ができました。秋田県は、しいたけ、ネギなどの輸出にも力を入れており、枝豆以外の青果物の輸出も模索しています。

- 「秋田県産枝豆を香港へ輸出~3年ぶり2回目~」: 令和7年9月3日プレス済

### 6 「りんご」 秋田県産(12月)

- ・ 2025年12月に秋田県産りんごの香港への輸出が実現しました。今回輸出したりんごは、「秋田紅あかり」という秋田県オリジナル品種です。

- 「秋田県産りんご「秋田紅あかり」を香港へ輸出」: 令和8年1月9日プレス済

## 7 「仙台牛」 宮城県（通年）

- ・ 従来、和牛の輸出では、生産者側は「一頭買い」（一頭分の精肉）を希望するのに対し、仕入側は「部位買い」（特定部位の精肉）を求めるというミスマッチや、生産者側の供給の安定が課題となっていました。
- ・ 東経連が日本ハム(株)と JA 全農みやぎを結び付けたことにより、食肉業界大手の日本ハムがその高い販売力を活かして「一頭買い」を確約するとともに、JA 全農みやぎを通して肥育農家からの供給量を確保することにより、2023 年 7 月から和牛の台湾への輸出が実現しました。
- ・ これまで月 12 頭の輸出でしたが、2025 年 5 月からは月 18 頭となりました。

### （その他）

- ・ 東経連では、東北・新潟 7 県との官民による広域連携の下、2025 年 5 月 27 日（火）から 5 月 31 日（土）にかけてタイの首都・バンコクで開催された東南アジア最大級の国際食品総合見本市「THAIFEX2025」へ 2 年連続で出展し、東北・新潟 7 銘柄の米や地域産品を出展し、PR や商談を行いました。
  - 「東北・新潟 7 県と連携してバンコクの国際食品総合見本市「THAIFEX2025」へ 2 年連続の出展」：令和 7 年 5 月 14 日プレス済
  - 「東南アジア最大級の見本市「THAIFEX」における成約状況について」：令和 7 年 11 月 4 日プレス済

### ○今後の方向性

- ・ 香港においては、東北のメロン、サツマイモ、キャベツなどの評価が高く、今後も需要の増加が見込まれることから、各県庁や JA などの関係機関と連携を密にし、更なる生産者の発掘を行うほか、他産品の輸出に向けて協議を継続してまいります。
- ・ また、サツマイモについては、2023 年より仙台塩釜港から横浜港までの船便による輸出を開始しており、地域インフラの活用と物流の諸課題への対応も念頭に、他地域での今後の輸出事業における地元港湾等の活用を指向していきます。
- ・ 香港、台湾に加え、タイ、シンガポールをはじめとする東南アジアなど、品目だけでなく、新たな地域への販路拡大に向けた事業を実施してまいります。
- ・ 仙台牛に関しては、売れ行きも良く、今後も安定した供給量の確保と、取引の継続・拡大に向けサポートしてまいります。

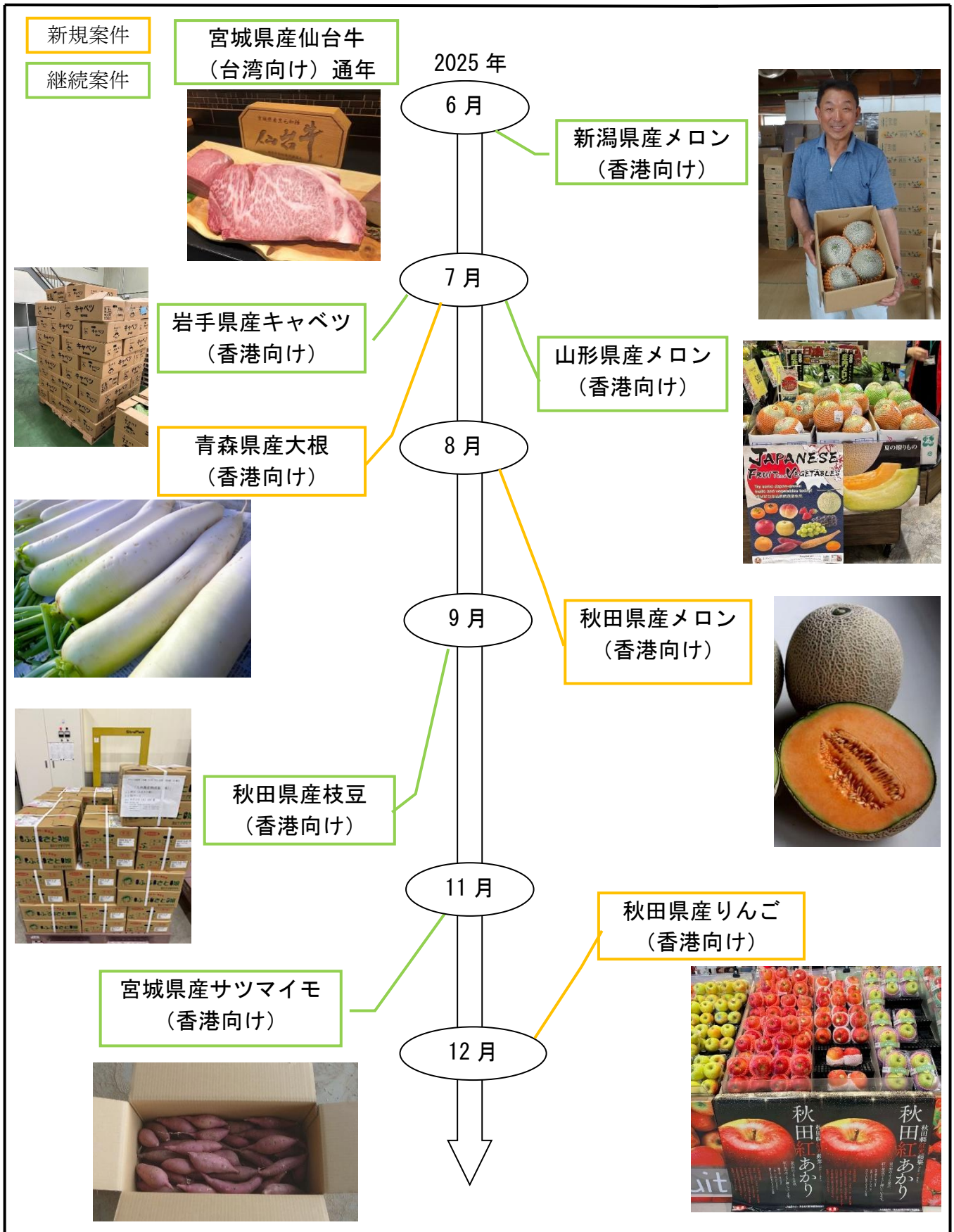
東経連では、引き続き関係機関との連携により、魅力ある東北・新潟産品の輸出拡大を支援し、東経連のビジョン「わきたつ東北」実現の加速化に繋げてまいります。

以 上

【本件担当】（一社）東北経済連合会

食・観光グループ 五十嵐、東山 電話：022-397-6528

1. 輸出支援実績 (時系列別)



## 2. 東北経済連合会のこれまでの輸出支援実績について

産地	品目	輸出先	年月	量
青森県	モモ	香港	2021年8月	96ケース (5~6玉/ケース)
			2022年8月~9月	合計384ケース (5~6玉/ケース)
	鶏卵		2022年3月	608ケース (15パック/ケース)
	キャベツ		2023年7月	100ケース (8玉/ケース)
			2024年9月~11月	2,430ケース (8玉/ケース)
	メロン		2024年8月	160ケース (5~6玉/ケース)
	ナガイモ		2024年8月~3月	1,440ケース (400g×10パック/ケース)
大根	2025年7月~10月	190ケース (10本/ケース)		
岩手県	キャベツ	香港	2023年7月~10月	1,100ケース (8玉/ケース)
			2024年6月~9月	1,870ケース (8玉/ケース)
			2025年7月~10月	約4,000ケース (8玉/ケース)
	米		2023年10月	432ケース (10袋/ケース、2Kg/袋)
	2024年6月		500ケース (10袋/ケース、2Kg/袋)	
2024年12月	100ケース (10袋/ケース、2Kg/袋)			
宮城県	サツマイモ	香港	2021年2月、4月	300ケースずつ、合計600ケース (10kg/ケース)
			2021年11月~2022年3月	約120トン (10kg/ケース、約12,000ケース)
			2022年11月~2023年3月	約100トン (10kg/ケース、約10,000ケース)
			2023年11月~2024年3月	約30トン (10kg/ケース、約3,000ケース)
			2024年12月~2025年3月	約40トン (10kg/ケース、約4,000ケース)
	2025年11月~2026年4月	約30トン (10kg/ケース、約3,000ケース)		
	魚肉ソーセージ	マレーシア	2021年10月	22ケース (40パック/ケース)
			2022年9月	22ケース (40パック/ケース)
			2023年9月	8ケース (40パック/ケース)
	仙台牛	台湾	2023年7月~2025年3月	12頭/月
2025年4月			14頭/月	
2025年5月~			18頭/月	
キャベツ	香港	2021年11月	630ケース (8玉/ケース)	
秋田県	枝豆	香港	2022年9月	50ケース (20袋/ケース)
			2025年9月	50ケース (20袋/ケース)
	メロン		2025年8月	100ケース (4玉/ケース)
	りんご		2025年12月	156ケース (14~18玉/ケース、5Kg/ケース)
山形県	メロン	香港	2019年7月	300ケース (5玉/ケース)
			2021年7月	48ケース (5玉/ケース)
			2022年7月~8月	合計500ケース (4~6玉/ケース)
			2023年7月	合計480ケース (4~6玉/ケース)
			2024年7月	合計610ケース (5~6玉/ケース)
	2025年7月~8月	合計530ケース (5玉/ケース)		
モモ	シンガポール	2024年8月~9月	合計100ケース (12~16玉/ケース、5Kg/ケース)	
啓翁桜	香港	2023年2~3月	合計245ケース (20束/ケース)	
新潟県	メロン	香港	2023年7月	50ケース (4玉/ケース)
			2024年7月	200ケース (4玉/ケース)
			2025年6月~7月	250ケース (4玉/ケース)

2025年新規案件

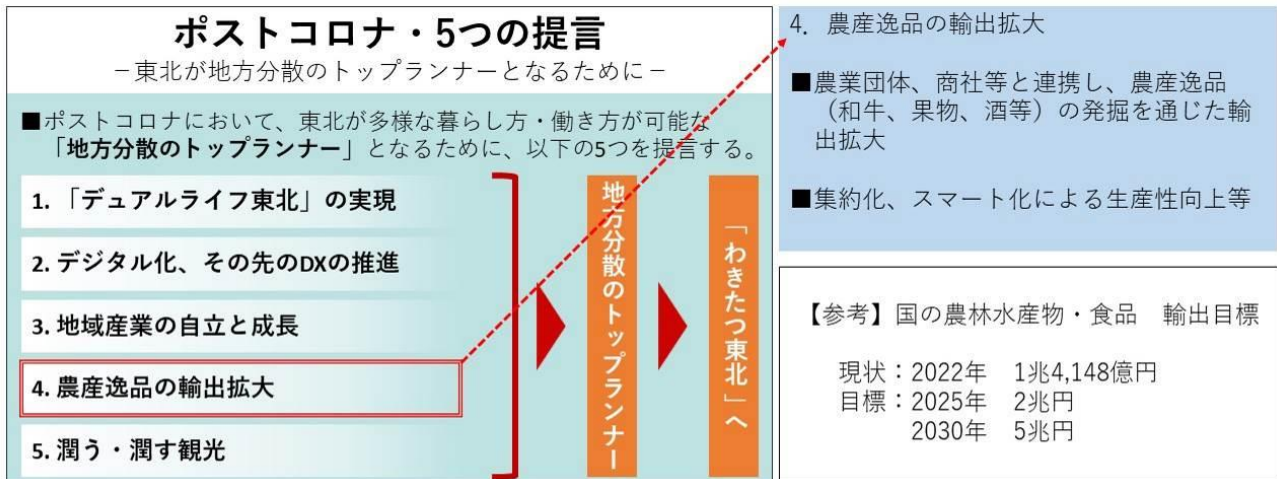
2025年継続案件

### 3. 東北経済連合会の輸出事業の概要

#### 【輸出事業の位置付け】

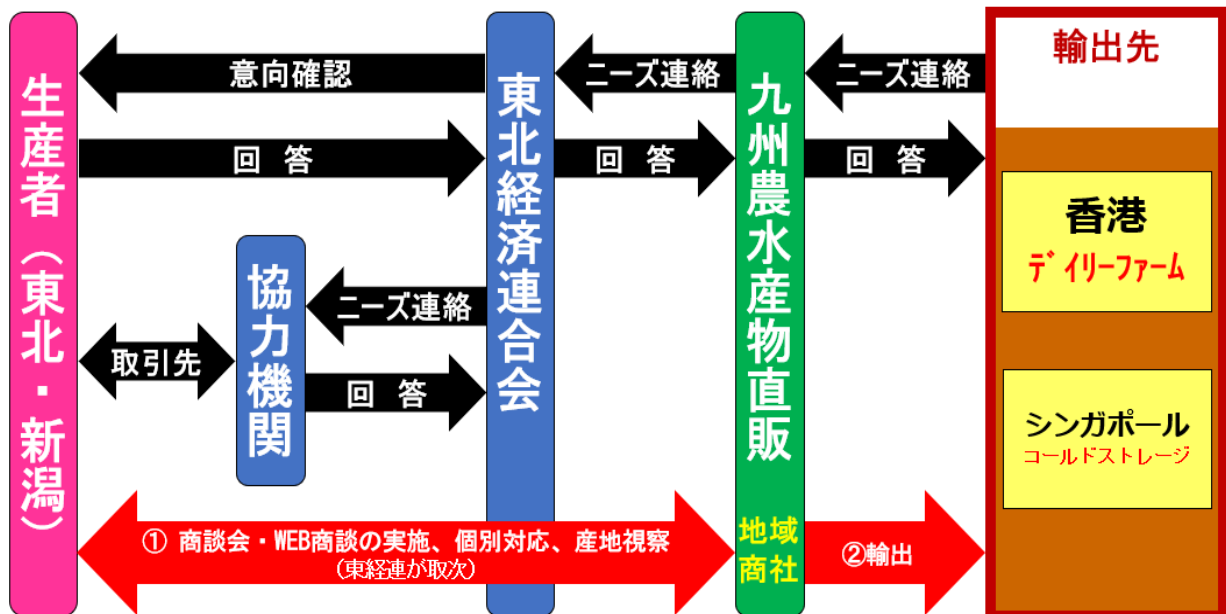
・東北経済連合会では、「ポストコロナ・5つの提言」に掲げる「提言4. 農産逸品の輸出拡大」に向けて取り組みを展開している。

・輸出拡大は、人口減少下で地域経済の縮小が見込まれる中、東北・新潟の基幹産業の一つである第一次産業の活性化により、所得の向上や雇用の確保を図り、地域経済の活性化に資するものと考えている。



#### 【事業スキーム図】

### 【東北と九州が連携した輸出事業スキーム】



#### 東経連の役割

- ・海外のニーズに対して、東北・新潟域内の生産者・商品の選定と紹介
- ・東北・新潟域内生産者と九州農水産物直販との商談の設定

【参考】九州農水産物直販(株)について

会 社 名	九州農水産物直販株式会社
代 表 者	代表取締役 小田 保 (元九州経済連合会 農林水産部長)
所 在 地	福岡市博多区博多駅前2丁目12番10号
設 立	2015年(平成27年)8月28日
資 本 金	1,890万円
業 務 内 容	農産物、水産物、畜産物及びその加工食品の販売及び輸出入業ほか
株 主	JAみやざき、(株)麻生、九州電力(株)、(株)クラフティア、 エスジーグリーンハウス、日本通運、三井住友信託銀行

以 上